

令和3年第3回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和3年3月12日 午後1時30分
- 2 閉会 令和3年3月12日 午後2時46分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、天野千栄子職務代理者、太田孝雄委員、金田真也委員
高崎佐智江委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 渡邊宏光
生涯学習課長 山田正勝
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 天野敏規
中央図書館長 是住久美子
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第3回定例会議事日程

日 時 令和3年3月12日(金)

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

(1) 田原市文化財保護審議会委員の任命について

4 報告事項

(1) 教育委員連絡報告事項

(2) 田原市教育委員会表彰について

(3) 田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画について

(4) 田原市社会教育施設個別施設計画について

5 その他

開 会 午後 1 時30分

教育長

本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、令和3年田原市教育委員会第3回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、天野委員と太田委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私のほうからさせていただきます。

2月28日、前回の教育委員会定例会の後、田原市教育委員会表彰選考会を開催いたしました。後ほど報告がありますが、コロナ禍のために様々な大会等、開催が少なかったものですから、候補者が例年よりも少なかったのが残念ではあったのですが、この状況下でとても頑張った皆さんに敬意を表したいと思います。

以前にも連絡させていただきましたが、表彰式につきましては、今回も実施しないということでございますので、ご了承ください。

2月25日に表敬訪問がございました。このところ、全国大会等の大きな大会に出場する児童、生徒の方たちが多くて、表敬訪問にたくさん見えております。2月25日が空手の全国大会に出場の星城高校2年の佐藤さん。3月1日には、中学生のバドミントン全国大会の出場を決めております田原中学校2年生の伊藤さん。3月3日には、高校生のバドミントン全国大会に出場の岡崎城西高校2年の佐久間さん。3月10日には、室内陸上の全国大会に出場が決まったということで、東部中学校2年生の佐藤さんと田原中学校2年の岡田さんが訪問してくれました。本日もこの後、野田小学校の6年生の河合君が所属するチームが少年野球の全国大会へ出場するというので表敬訪問にきてくれます。

現在、田原市議会の令和3年の第1回定例会が開催中でございます。新年度予算を中心に審議中でございます。

3月3日へ戻り、市内の中学校の卒業式が開催されました。

私は泉中学校のほうへ出席してまいりました。泉中学校は、これで閉校するという、一区切りの大きな記念の年でございます。校長先生の式辞、卒業生の答辞にも万感の思いが込められていて、心に残る素晴らしい卒業式となりました。

感染予防のために来賓の数も本当に最小限に絞って、式自体も短く

するように簡略化したものであったのですが、参加している子ども達の様子から、やはり一つの大きな節目を迎える学校の生徒であるということが、本当に伝わってきて、学校を閉じることの大きさというのか、そういったことを強く感じた次第でございます。

明日、3月13日が泉中学校の閉校記念式典になっております。コロナ禍のため、開催が縮小した、制限された形でしか行えないのですが、それでも何とか開催にこぎつけることができ、何とか明日予定どおり開催されますので、こちらのほうも記念に残る1日なるのかなと感じております。

泉中学校の小久保校長が、今年学校全体の教育活動のキャッチフレーズとして、「泉の心薫る学校」というのを示しております。泉の心というのが、とても子ども達にもよく浸透していて、それが先ほど卒業式の場面にもよく表れているなと思いますし、子ども達が書いた作文などにも、そんな思いが伝わってくるようなものでございました。

1年生、2年生については、赤羽根中学校で新たな生活が始まるわけですが、子ども達が心を十分に育てた上で、新しい学校生活に向い、また夢をもって進んでいけるのかなと感じた次第でございます。

私のほうからの報告は以上とさせていただきます。

何かご質問等ございますでしょうか。

特にないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

では、これより議題に入ります。

初めに議案第5号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

文化財課長

田原市文化財保護審議会委員の任命について、田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。令和3年3月12日、本日付教育長名でございます。

提案理由といたしまして、田原市文化財保護審議会委員3名が任期満了となるため、新たに審議会委員の任命をするものであります。

1枚はねていただきまして、名簿がつけてございます。

加藤克己さん、専門分野は歴史、中世。次に、石井志津子さん、専門の分野は歴史、近世。最後に、八木将勝さん、専門分野は自然、植物です。いずれも再任となります。

任期につきましては、令和3年4月1日から令和5年3月31日でございます。

以上となります。よろしくをお願いします。

教育長

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますか。

特にご質問等もないようですので、お諮りいたします。

議案第5号田原市文化財保護審議会委員の任命について原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第5号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて報告事項に入りたいと思います。

それでは、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いいたします。

天野委員

初めに天野委員からお願いします。

報告させていただきます。

3月3日水曜日、私は、福江中学校の卒業式にお伺いいたしました。校長先生にも久しぶりにお会いして、少し話をさせていただきました。先生は普段表浜の42号線を通られて、和地の交差点で曲がって、福江に入ってくる道を通るそうですけれども、卒業式当日は、渥美総体のほうに入られたそうです。普段スクールバスで通われている岬地区の生徒さんだと思うのですけれども、学生服の卒業生の男の子たちが数人で歩いていらっしゃるのを見かけられたということで、いつもはスクールバスですと通ってしまっている道を、少し早めにみんなでいろいろ思い出を思い出しながら歩いてきてくれたんだろうなという、ほほえましい様子を見ましたとお話をさせていただきました。

それから、何名かの卒業生で、会場に入れない子もいらっしゃるということで、その子たちのために、式の後校長室で第2卒業式を行うということでした。

コロナ対策で、来賓は、私とPTA会長さんの2人だけでした。

あと印象的だったのが、卒業証書を受け取った後、だいたい受け取る方と次の順番の方と2人そろって校長先生の前でお辞儀をするのが私たちの時代からの通例だったと思うのですけれども、今年は密を避けるため、壇上で名前を呼ばれて返事をして、1人ずつ校長先生の前で受け取って、それでそのまま帰るという、横から入って行って正面から帰ってくるという、やはり導線も重ならないように考えていらっしゃるって、予防対策を取っていらっしゃるんだなと思いました。

式の後、卒業記念合唱が例年あるのですけれども、今年はその合唱はなく、先生たちと卒業生でつくった記念映像というのを式の後にも上映されました。その中で、映像の中では言葉は発しないですけど、思い出とか夢とかを書いた1枚の紙を持ちながら、順番に生徒さんの顔が映し出されて、時々会場からも笑いとかも起こったりして、とても和やかな、とてもいい式でした。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

金田委員

続いて金田委員お願いします。

3月3日に東部中学校の卒業式のほうに参加させていただきました。

会場のほうが大幅に改善されていて、ステージは一切使わずに、右手に卒業生がいて、反対に保護者がいて、そして真ん中に台があって、そしてその反対側のところに先生と在校生1名、その一番手前に教育委員とPTA会長2名の来賓ということで、そのような形での卒業式でした。在校生300名弱が欠けていたのですが、そうすることで体育館のスペースをうまく使い、寂しさを感じさせない形でした。

卒業証書を受けるときは、保護者に対して顔が見えるような形で、保護者も写真を撮りながらみていて、とても工夫された卒業式だったとそうのように思いました。

こういった状況の中、何とかしてあげようという努力が十分すぎるほど伝わってまいりました。卒業証書を受け取った生徒は、モニターの横に立って、マスクを外して、モニターには自分の思いというか気持ちを書いてあり、映し出されて、そこでまた写真を撮って、そういった形もとてもよかったです。

一番印象に残ったのは、卒業生の答辞ですけれども、様々な行事が制限されて、中止だとか縮小とかを余儀なくされる中、修学旅行とともに東中祭がとても印象に残ったと言っていました。その内容は、合唱コンと体育祭を混ぜて、半分に縮小した中でやったのが、ものすごく楽しかったと言っていました。ただ、その行事を行うにあたって、先生も感染に対してリスクをすごく感じて、何かあったら責任を取る、そういった気持ちで少しだけ緩めたと言っていたのが、すごく子ども達にとってはよかったのかなと思いました。その反面、裏を返すと厳しい感染対策を行っていたのではないかなというのが読み取れました。

告辞の内容に内村航平選手の「できないではなくて、どうやったらできるか、そういう方向に考えを変えてほしい」という生徒に向けたメッセージがあり、この1年間、先生方が生徒にみせてきたものだったのではと、学校には言っていないですけど、そんな1年だったのではないかなというのを卒業式に出ただけで感じさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、太田委員お願いします。

教育長

太田委員

前は欠席させていただきました。そのため、前回報告できなかった分も報告いたします。

1月20日に奨学金給付者選考委員会に出させていただきました。この奨学金につきましては、田原市が低所得のため高校進学が困難な生

徒を支援する制度ですが、ここ2年ばかり該当者がなく、今年度は候補者が1名ありました。

該当者がいないというのは、希望はあるのだけれども、学力の条件があり、その条件がクリアできないために各学校から推薦が出ないということだそうですが、コロナ禍等が厳しい状況がありますので、数年該当なしがあれば、規約・細則の見直しも必要ではないかなということを感じました。

2月18日の教育委員会表彰の選考委員会についても、欠席をさせていただきました。

3月3日は、赤羽根中学校の卒業式に出させていただきました。先ほど、教育長から泉中学校の感動的な卒業式のお話がありましたが、統合の受け入れる側の赤羽根中学校につきまして、全体としては大変厳粛でさわやかな卒業式でしたが、特に統合ということについてはあまり式の中では感じさせるような場面はありませんでした。泉中を迎えるということで、玄関、ロータリー、体育館の外装だとかフロア等、大変整備されていて、受け入れ態勢も整っているように思いました。

出席者につきましては、ほかの中学校と同じだと思いますし、式の中の歌の部分が全て省略でしたので、50分弱ぐらいで式は終わりました。

とても厳粛な中、卒業生のさわやかな動きや表情が印象的でした。

こういうコロナ禍ですので、まずは卒業式、卒業証書授与式を行うということが一番メインだと思いますが、在校生にとっても、この卒業式というのは、新年度の抱負や決意の場になるものですから、特に赤羽根中学校の場合は、今度、泉中学校との統合ということで、在校生も出させてあげたかったなということを感じましたけれども、こんな状況ですのでいろいろなものを削っていった形になっています。

告辞の言葉は、ただ形式的なものではなくて、やはり子どもの心に訴えるようなそういう内容であって、内村選手の言葉もとてもいいなと思いました。

私からは以上です。

ありがとうございました。

最後に高崎委員お願いします

私も3月3日、田原中学校の卒業式にお邪魔させていただきました。206名の卒業をお見送りする来賓としてPTA会長とお招きに預かりました。

卒業式のスタイル自体は、我が子の卒業式のときと同じような配置ではありましたが、とても短時間にすまされていて、合理的に進行を進められていたと思います。

先ほど皆さんおっしゃっていましたが、「ふるさと田原を、みんなをいつまでも応援しているよ」というところにとっても感

教育長

高崎委員

動いたしました。

今回の卒業式は、我が子の卒業式以上に今までの私の人生の中で一番感動したのではないかなと思っています。

中には車椅子のお子さんもいらっしゃいまして、車椅子のお子さんは壇上で誰の支えもなく、1人で証書を受取って、舞台から降りるときには陰で付き添いの先生もいらっしゃいましたけれども、合唱のときにはその子を引っ張ってくださる方がみえて、ここから様々な道に進むのだけでも、自立していかなければいけないということを私自身が勝手に思った次第です。

あと、校長先生のお話の中で、看板を今年は取り外しましたということがありました。看板を設置してしまいますと、どうしても皆さん写真で密になりがちなので、あえて外しましたということでした。

やはり、新型コロナウイルス感染症対策ということをとっても考えていらっしゃって、先生方のご苦労というのをとても感じさせていただきました。

私事になりますけれども、私が昔、子育てのことを悩んだり迷ったりした時に投げかけた言葉に、校長先生が応えてくださった言葉というのが、いまだに私の中に残っておりまして、そのことのお礼を、校長先生に申し上げることができました。すごく私がありがたいなと思ったのは、こうして話すことによって、前向きになれる相手というのは、先生としてとても大切なことなのだろうなということをしごく思いました。

最近、見守るということはすごく大事なことではないかなと思うものですから、これから可能性のある15歳の方々に、たくさんの方々の可能性というのか、とてもいい環境で育っていかれて、将来の明るさというものを感じられて、本当にありがたい思いをさせていただいたと思う次第です。

あと、先生方にお会いできて、ここの義務教育を子ども達が9カ年ここで終えさせていただいたことをいまさらながら本当に自分達ではなく、先生方のおかげ、地域の皆様のおかげだなということを改めて実感させていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

次に報告事項(2) 田原市教育委員会表彰について、事務局から報告をお願いします。

令和2年度田原市教育委員会表彰受賞者名簿をご覧ください。

功労賞としまして個人で8人の方、それから殊勲賞でまず個人の方が16人、そして団体表彰ということで、2団体12名の方、合計で、功労賞で8名、殊勲賞で28名、全体で36名の今年度の受賞者が決定しております。

教育長

教育総務課長

教育長

冒頭、教育長も申し上げましたが、コロナ禍の状況で、なかなか大会が思うようにできなかったという報告がありまして、令和元年度は43組72名の方でした。それから比べますと、今年度は半数以下の表彰者となります。

なお、緊急事態宣言は解除されておりますが、今年度の表彰式のほうは開催せず、団体を通じて皆様方のほうに表彰状及び記念品のほうはお渡しさせていただく予定となっております。

私からは以上です。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等何かございますでしょうか。

特にないようですので、次に（3）田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

引き続きお願いいたします。

田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画の最終案の概要、それから最終案の計画書がつけてございます。前回の総合教育会議の場で、皆さん方に素案を示させていただきまして、説明をさせていただいております。その後、1月後半から2月にかけてパブリックコメントを行いまして、市民の方からのご意見等を頂戴する機会を設けました。お一人の方から2点のご意見をいただいておりますが、今回の教育大綱で修正を加えるというような内容ではありませんでした。実際には、個別計画と言いますか、アクションプランの中で学校教育振興計画のほうで生かしてほしいというようなご要望でございましたので、そちらのほうで対応するというので、教育大綱のほうは参考意見ということにさせていただきます。

さらに、このパブリックコメントを終えて、その期間中、事務局のほうでも、今一度各部署で見直しを図りまして、部分的には修正を加えさせていただいておりますが、内容自体は変わっておりません。そういったところで今回、これを最終案とさせていただきます。

そして、予定では来週3月18日の総合教育会議で承認いただき確定となりますので、教育委員さんにも再度そこでご意見等いただきながら確定という運びにしたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

私からは以上です。

教育長

ただいまの事務局の説明について、ご質問等ございますでしょうか。ご質問もないようですので、次に進みたいと思います。

(4) 田原市社会教育施設個別施設計画について事務等から報告をお願いします。

生涯教育課長

生涯学習課です。

お手元の概要版に沿って説明させていただきます。

まず、今年度の春先に社会教育施設個別計画を作成しますよという

お話をさせてもらいましたものが一旦まとまりました。この後、社会教育審議会のほうに報告するというようになっております。

まず、1の計画策定の趣旨でございますけれども、厳しい財政状況や人口減少などの状況を踏まえ、社会教育施設の全体状況を把握し、更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減、平準化や公共施設等の最適な配置を推進するために策定するものでございます。

計画の位置づけですけれども、今回策定する計画は、「田原市公共施設等総合管理計画」を上位計画とする個別計画として位置づけ、上位計画に基づき生涯学習課、文化財課、図書館、教育総務課が所管する社会教育施設の維持管理及び更新等に係る中長期的な取組の方向性を明らかにするものでございます。

この「田原市公共施設等総合管理計画」というのは、平成28年度に取りまとめているものでございます。

3の計画の期間ですけれども、令和3年度から令和19年度までの17年間とし、5年度ごとに計画の見直しを行います。

4の策定対象施設でございますけれども、市民館施設、生涯学習施設、文化施設、体育施設、その他施設の47施設となります。本編で言いますと、2ページから7ページにこういったものがあるというものが載っておりますので、また後ほど見ていただければと思います。

5の施設の規模・配置・今後の活用方針についてです。

市民館等施設につきましては、学習や交流の拠点としての機能や地域におけるコミュニティ活動、災害時の避難所としての機能を有しているため、施設の長寿命化を図り、引き続き現在のコミュニティ協議会単位の施設維持を基本とします。

生涯学習施設につきましては、田原市博物館、文化財収蔵庫、吉胡貝塚史跡公園、皿焼古窯館は、重要文化財や重要美術品等の資料を管理している重要な施設のため、現在の規模で維持します。あわせてほかの施設との統廃合や多機能化、民間事業者等による施設の管理運営の可能性についても検討します。

渥美郷土資料館につきましては、現状の機能を維持しつつ、他の公共施設との複合化を検討します。

田原市民俗資料館につきましては、施設の劣化が重大な状態になった場合に、収蔵している民俗資料について他の施設に移動し、民俗資料館としての機能は廃止する方向で検討します。

中央図書館と渥美図書館については、利用率も高く、文化会館との複合施設であることや、街の中心的な場所に位置し、地域活動や巡回バスの拠点であるため、現状の規模で維持します。赤羽根図書館は、赤羽根市民センターとともに民間施設との複合化を視野に入れた検討を行います。

ふるさと教育センターについては、ふるさと教育に関する資料を収集整理、教育等の相談支援や適応指導教室、文化財資料の収蔵、整理、展示する機能等、これらの果たす役割は大きいと、現在の規模及び配置を維持します。

文化施設につきましては、田原文化広場、渥美文化会館は、ホール客席数に違いがあり、機能が重複しないため、現状の規模や機能を維持します。赤羽根文化ホールについては、田原文化会館と用途が重複することや利用者も減少傾向にあるため、今後は施設維持の費用対効果等を考慮した上で施設の機能移転について検討していきます。

池ノ原会館については、当面の間は利用を継続してまいります。継続利用しながら、施設の更新、廃止、耐用年数及び劣化度を把握し、民間事業者等による施設の管理、運営の可能性について検討します。

池ノ原幽居については、今後も費用がかからない見込みのため、今後も維持していきます。

体育施設につきましては、滝頭公園、白谷海浜公園、中央公園、緑が浜公園、総合体育館、渥美運動公園の各施設について、各地域及び各種目により定期的な利用をされており、特に統合体育館、中央公園、渥美運動公園は、需要も高く、施設も充実していることから、市民サービスにつながる重要な施設として、現状の配置を維持します。

需要が著しく低下している施設は、廃止等も含めて他の施設との統廃合を検討します。さらに指定管理制度について、他の施設への導入の可能性についても検討いたします。

赤羽根文化広場については、耐用年数や劣化の進捗具合、今後の費用対効果を考慮した上で、他の公共施設への機能移転、地元への管理委託について検討します。

その他施設ですが、江比間野外活動センターについては、老朽化が進んでいることに加え、キャンプや宿泊等の各機能について、民間を含め、市内や豊橋市の各施設で代替可能であることから、共同運営をしている豊橋市と調整し、劣化度や耐用年数を目途に機能を廃止する方向で検討します。

崙山会館については、田原市の中心部にあり、会議やレセプション等を行っている施設ですが、近くに崙山会館の代替となる施設がなく、コンベンション、レセプション機能を持った施設として、今後も使用していく必要があるため、現状の規模で維持していきます。

田原給食センターについては、園児、児童、生徒に安心・安全な給食の提供を行うため、現状の規模や配置を維持していきます。

続きまして、6の改修・長寿命化の方針でございます。

目標使用年数80年まで利用することを目途に、建築年次、施設健全度を考慮し改修を行っていきます。長寿命化については、従来型の期間60年による建替えから長寿命化改修による建物の長寿化80年に切り

替え、「学校施設の長寿命化策定に係る解説書」の劣化状況調査票を活用した適切な点検や診断の実施により、計画的な維持管理・修繕・更新等の予防保全に努め長寿命化を図ります。

長寿命化改修については、目標年数の半分に当たる40年目前後に行うことを目途とし、緊急性やライフサイクルコストを鑑み、部位改修を併用した調整を検討します。

また、建設から20年及び60年に原状回復のため、中規模修繕を実施します。

7の長寿命化の効果でございますが、今後17年間のコストについて、施設の更新期間60年の従来型と更新期間80年の長寿命型を比較した場合、従来型で約518億4,000万円、年間にしますと30億5,000万円ですが、長寿命化では約365億5,000万円、年間では21億5,000万円となり、従来型と比較しますと約29.5%のコストが削減できる見込みです。

今後は、複合化と長寿命化、これをキーワードに社会教育施設も進めていきたいと考える次第でございます。

説明は以上です。

教育長

ただいま事務局の説明が終わりました。何かご質問等ございますでしょうか。

金田委員

お願いします。

長寿命化とか複合化というのは、待ったなしの状況だと思うのですが、具体的にいつ頃からこういったことに取り組んでいくのか、教えていただきたいです。

生涯教育課長

策定期間というのは、もう始まっておりまして、先ほど説明しました2037年まで17年間のうちで進めていくのですけれども、その具体的な最新の予定というのが、本編の81ページに、これはあくまでも今後の工事、改修等の想定ではございますけれども、こちらに載っております、すぐにでも取りかかっていたいと考えているところです。

意見については、市民館館長、社会教育審議会委員、文化財審議会委員、図書館審議会委員のみなさんそれぞれに素案の段階で見せて、ご意見をいただいて作成しているところでございます。

中にはやはり、状況は分かったと、ただ、納得がいくような説明をして、じゃあしょうがないねという恰好で今後進めてくださいという意見がやはり多ございました。

金田委員

つくるより減らすほうが難しいですね。

生涯教育課長

当局はやはり、いつまで保っているんだというようなことを言われるのです。担当の部署としては、それぞれの思い、携わってきたいろいろな関係者の思いが違うわけです。運動施設を利用するのと、文化施設を利用するのとそれぞれ意見が違いますので、本当はなかなか一概には言えないところであるのかなというのは、策定していて思ったところでございます。

ただ、待ったなしというのもありまして、やっていかないと、今後が大変困ることになります。今までは箱物をたくさんつくってきて、褒められた時代だったと思います。これからは、まったく逆のことをしていかないといけないものですから、今度は怒られながらも長寿命化、もしくは統合・複合化をやっていかなければならないんだなということをつくづく感じます。これはなかなか市の職員だけではできませんので、教育委員さん、議員さん、関係諸団体の方々とも協力しながら進めていかなければならないのかなというのは思っているところでございます。

金田委員
教育長

ありがとうございます。

それでは、それ以外の質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長
教育総務課長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

まず、教育委員さんの出席日程（案）についてです。

明日、泉中学校の閉校記念式典がございますので、教育委員さんの代表で天野委員よろしくお願いいたします。天候が不安ですが、グラウンドがそのまま駐車場になるということですので、よろしくお願いいたします。

それから3月18日木曜日には、第2回総合教育会議を開きます。先ほどの教育大綱の策定に向けた説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3月19日金曜日には、小学校の卒業式がございます。それぞれの委員さんの行っていただく学校名が記載してありますので、よろしくお願いいたします。

3月31日、4月1日につきましては、別紙に2日間の詳細がありますのでご確認ください。

私からは以上です。

教育長

今の報告事項にご質問はよろしかったでしょうか。

それ以外に何か報告ありますでしょうか。

教育部長

私のほうから、3月議会でのいろいろな一般質問等の報告をさせていただきますと思います。

田原市の施政方針と令和3年度第1回定例会の代表質問という資料を配布させていただきました。

まず、施政方針のほうですが、毎年新年度予算に合わせまして、市長が新年度の田原市の行政をどのようにやっていくかということが書いてあるものでございます。教育委員会も同じようにこれに基づいて仕事をしていくという大前提でございます。

6ページに市長が発表した教育に関連することについて書いてございます。

まず、泉中学校の閉校と赤羽根中学校の統合について、伊良湖岬小学校の件、学校の長寿命化について、学校プールのあり方、G I G Aスクール等、そういうことが市長の施政方針として述べさせていただいております。

これに基づいて、次の第1回定例会の代表質問と書いてある資料をご覧ください。こちらのほうに、この施政方針に基づいて教育関係のことについて2人の議員から質問がありました。一番上が大竹議員、自民党の田原市議団の代表ということで、田原のICT教育はどのように生かす予算としているのか、その狙い方を伺いたいということで、こちらは教育長が市長になり代わりまして答弁させていただいております。

次に、市民クラブの平松議員からは、学校教育関係ですが、G I G Aスクールが始まって、先生方の多忙化がもっと進むのではないかとというような質問でございます。それについて、どのように解決していくか伺うということの質問です。

これについては、実は一般質問のほうでも同じような質問がございました。

公明党の田原市議団の辻議員からの質問でございます。こちら、学校における働き方改革の推進についてということで、文部科学省は令和2年度年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査を行ったということで、本市の学校における働き方改革の取組状況を伺うということでございます。

教育委員会規則で定めた勤務時間はどうなっているのかとか、教職員の実態についてはどのようになっているのか、そして、在校時間が長くなる要因はどうであるか、今後、在校時間を削減するために田原市が行っている対策はということ、そして、これまでの対策について効果と課題を伺うということです。

ここについては、答弁としましては、数年間の取組によって勤務時間に対する意識が着実に高まっております。その中で、行事の精選でありますとか、会議の効率化、部活動の見直しなど様々な対策を立ててきました。それでもやはり、上限を超える教職員が11月で4割から5割程度いるということで、これについては教員ですとか、学校だけで解決できないことがありますので、今後は実情に応じて対策を検討していく必要があるというような答弁をいたしました。

そして、最後に、学校や教員の業務の適正化をどのように図っていくのか、今後の見通しを伺うということで、一番心配されるのが、働き方改革をやることによって子どもが取り残されるのではないかとという心配が一番ございますので、そういうことではありませんよと。先生が気持ちよく働くことによって子どもがよい教育を行うことができるとそのような答弁をさせていただきました。

そしてもう1枚ございます。こちらのほうは、教育部に対する質問ではなくて、健康福祉部に対する質問でございます。これも辻議員ですが、ヤングケアラーの支援ということで、なかなか聞きなれない言葉かと思います。こちらのほうの質問要旨にヤングケアラーの定義と言いますか、そういうものがあります。

例えば、病気や障害など家族の面倒を見ることによって、18歳未満の子どもがかなり困っている。過度なケアが不登校や虐待、いじめにつながっているという実態もいろいろなところであるということで、それに対する質問になっております。基本的にはまだ田原市では、ヤングケアラーの事例というものはまだ報告されていないということで、この下のほうにそのことが、いろいろな会議等で話題には出しているけど、まだ報告には上がってきていません、ということがございます。

教育委員会の答弁としては、子ども達にとって、身近な住民や学校など、日頃から子どもと接触している方からの気づきが、早期発見に有効である。日頃よりヤングケアラーを見過ごさない対策は、教育現場ではどのように行っているかということに対して、教員間で気になる児童生徒に関する情報の共有を常に図っております。対応にもスクールソーシャルワーカーも活用しながらやっており、それで支援が必要な場合については、子育て支援課等の関係機関とも連携して対応しています。

そして、学校現場として今後、具体的にどのような取組を行っていくのかということです。こちらについては、一番最後ですが、生徒に何気ない会話や家庭環境の様子など気を配り、早期発見を心がけるように働きかけていく、という回答をさせていただきました。

私も恥ずかしながら、この質問によって、初めてヤングケアラーという言葉を知りましたので、これを機会に教育委員会のほうも気をつけていければと考えております。

それから、今、新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言が解除されて、嚴重警戒態勢になっているかと思います。これがもう1週間延びるということで、今公共施設の閉館が21時ということになっておりまして、それも1週間延びるということで、ご承知おきいただければと思います。

以上です。

そのほかいかがでしょうか。

お願いします。

情報提供ということですがけれども、清田小学校が9日、10日と修学旅行に無事に行ってきましたと、校長先生からの報告をいただきました。制約もなく、順調にということでありました。市内全ての小中学校で、修学旅行は無事に終了することができました。

教育部長

教育長
学校教育課長

教育長

それから、これも昨日得た情報ですけれども、くすのき教室、適応指導教室で中学3年生の子が数名在籍をしているのですけれども、全員定時制の進学が決まったということです。これからの展望が開けたということで大変喜んでいるそうです。何よりもうれしかったのが、その後続く中学生の子たちが、学校に行けないんだけど、それでもちゃんとこうやって高校に行けるんだということで、目標を失いがちな子が、そうやって目標を持てるという流れもひとつできつつあるかなということで、来年度以降もまた頑張っていってほしいなということを考えています。

よろしくをお願いします。

以上でございます。

そのほか。

教育委員さんのほうから何かございましたら。

では、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして田原市教育委員会第3回定例会を閉会とさせていただきます。御協力ありがとうございました。

閉 会 午後2時40分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員